

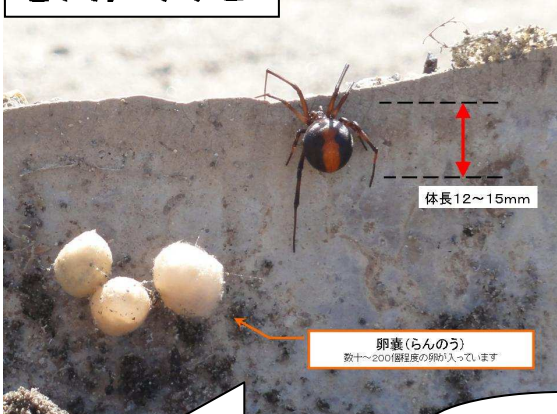
# ほけんだより



2014年 阿南工業高校保健室

気温や湿度の上昇とともに、虫の活動が活発な季節になりました。今回のほけんだよりは、今、話題の虫を特集しました。まずは、刺されないよう注意し、刺された場合も適切に対応してください。掃除やゴミの分別、部屋の清潔にも気をつけてください。

## セアカゴケグモ



オーストラリア原産の外来生物。平成7年に大阪府と三重県で生息が確認されて以降、各地に分布を拡大し、県内では鳴門市、徳島市、阿南市、松茂町で確認されている。

咬まれたら … 痛み・熱感

(小児や高齢者では重症化することがある)

水で洗って医療機関に相談する

発見したら …

- ・市販の殺虫剤を噴霧
- ・踏みつぶす

よくいる場所 …

コンクリートブロックの凹み・穴、プランターと壁の隙間、排水溝、排気口、自販機・室外機の裏側、自転車のサドル、脱衣場、下駄箱 **作業をするときは、手袋を！**

## マダニ(カタサゴキダラマダニ)



マダニ類の多くは、皮膚にしっかり口器を突き刺し、数日間吸血する。むりに引き抜くと、一部が皮膚に残ることがあるので、医療機関で処置をしてもらう。

刺された後は、**1~2週間は、発熱、吐き気、下痢に注意し、症状があればすぐに医療機関を受診する。**

**SFTS (重症熱性血小板減少症候群)** に感染しているマダニに刺されると、1~2週間の潜伏期(症状がない期間)を経て発症し、重症化すれば死亡の恐れがある。

**草むらや山に入るときは、肌の露出をさけること。**

## チリダニ



室内のちりや布団、ソファー、絨毯などに生息する0.2~0.4mmのダニ。人は刺ささないが、アレルギーの原因となる。

**こまめな掃除、布団干しを。(布団は叩きすぎない)**